



〈南柏駅で宣伝中に…〉
大きな声で、「共産党ガ
ンバレ～応援しているよ
!!」(男性)

一喜一憂しないで、
次は頑張ってください!!
(向小金・男性)

「自民党は本当に
腐っている。石破首相
もダメだ」、と赤旗を
購読してくれました。
(松ヶ丘・男性)

共産党は良いこと言っ
ているのだから、アピールの
仕方を考えたら…。
(前ヶ崎・女性)

なんで国民民主が増えるの?
残念、次、頑張ってください!!
(野々下・女性)

頑張っているのに議席が
減るって、ゆるせない。
(西松ヶ丘・女性)

励ましの街の声



日本共産党の「裏金旋風」



自公政権に待った

「しんぶん赤旗」申込みが激増

×(旧Twitter)で「#ありがとうしんぶん赤旗」がトレンドにありました。

「自民の議席を減らしたのは赤旗のおかげです」と、開票日から1718人と購読の申込みが続いています。

10/27の衆院選挙は、裏金、平和・暮らしの問題で国民の信頼を失い、与党が過半数を割り、改憲政党が3分の2以下になりました。
日本共産党は2議席減と、悔しい結果になりましたが、皆さまのご支援有難う

この結果により、自公政権の思い通りにならない議会運営になり、選挙で掲げた公約実現の可能性が広がっています。
時給1500円、消費税の減税、企業献金禁止、選択的夫婦別姓の実現に

103万円の壁って?!

年間の収入が103万円以下は所得税が無税ですが、超えた分に対して税金がかかります。しかし配偶者・扶養親族控除がなくなると、家族の手取りが減ってしまいます。
パート主婦が気になるのは税ではなく、年金や健康保険の「壁」です。106万円(50人以上の職場)と130万円(50人以下の職場)を超えると保険料

と年金を支払うことになります。
改善策は、①時給1500円にして税金・保険料を差引いても手取りを増やす、②低所得者の保険料を軽減すること。
もちろん控除の額を増やして、課税最低限を引上げることも必要です。



紙の保険証を残せ

12月から保険証の発行がなくなりますが、今の保険証は来年7月まで使用できます。その後も資格確認書が発行

されますので、ご安心ください。利用率も13.87%と低く、混乱続き。今のままで困っていませんので、紙の保険証残せの声をあげていきましょう。

2024.12 第243号

ニュース わかば

日本共産党流山東部後援会

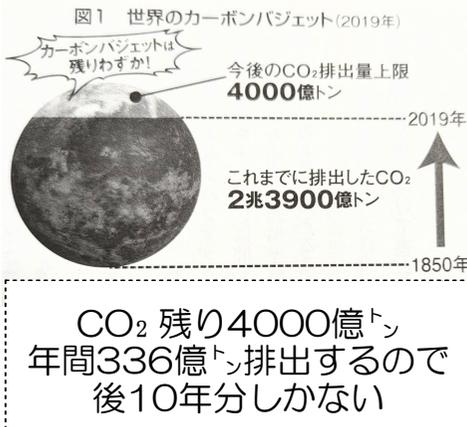
〈部内資料〉 連絡先 高橋 TEL 090-6565-1749

深刻な気候危機!?

記録的な高温、集中豪雨、干ばつに山火事など気候変動の事態が現実になってきて、深刻化しています。

は史上最も暑い年と。パリ協定では「産業革命以前に比べて1.5℃以下に抑える」と目標にしていますが、今1.45℃に迫っています。

今年5/19/30の猛暑は深刻で、5/19/30の救急搬送が全国で9万7千人、119人が死亡。世界気候機関が今年



日本の4つの問題点

- ① 削減目標が低い: 2030年目標 42%で国連は45%
- ② 新增設と輸出: 2030年までに石炭火力ゼロへ
- ③ 原発依存: 2030年までのエネ政策は20%~22%まで原発依存
- ④ CO₂を地下に貯留: 実用化のメドがない

2030戦略【日本共産党政策】

- ① 省エネ40%削減と、再エネ50%で30年度までにCO₂を50~60%削減、2050年に再生可能エネルギーに置き換え実質ゼロへ
- ② 脱炭素、省エネ、再エネをす

すめる…排出量が発電所39%と産業25%になり、200の事業所での対策を強化

③ 省エネと再エネの推進により新しい雇用をうみだし、地域を活性化します

ギャンブル依存症 対策を市へ要請

千葉県ギャンブル依存症家族の会の5名の皆さんと、10/18に障害者支援課に要請を行いました。

高橋あきら市議が議会で取り上げ、市としての具体的な取り組みについて要請。市は「これは議会で初めて取り上げられた問題で、多重債務・家庭内暴力・離婚・DV等々、多岐にわたる問題の原因になっているので対応していきます。パンフ配布・啓発につとめ、今HPの更新中です」

「会」の方は、対策の取り組みを「国・県から市町村自治体へと広げていきたい」と語っていました。



様々なパンフを紹介しました

身近な要望実現

要望・改善点をお寄せください。

道路整備



名都借グリーンバス通り

雨水溝修繕



名都借379 2度目の修繕



映画紹介

「花嫁はウソか?」

2024年 インド 124分
監督 キフン・ラオ/脚本 フナーハー・デサイ/出演 ラヴィ・キシャン、ニタインシー・ゴエル、プラティバー・ランター、スバルシユ・シユリーワール、シユタウ、チャヤ・カダム
12月7日から柏キネマ旬報シアター

2011年のインドの村からプールとジャヤの結婚式を終えた2人の花嫁は、偶然同じ列車に乗って花嫁の家に向かっていった。だが、同じ赤いベールで顔が隠れていたことから、プールの夫のディーパクが誤ってジャヤを連れ帰ってしまう。置き去りにされたプールの内気で従順、何事もディーパクに頼りきりで彼の家の住所も電話番号もわからず、降りた駅の屋台の女主人が手を差し伸べる。一方、聡明で強情なジャヤは、ディーパクの家族から怪しまれる行動をする。そこから2人の予想外の人生が始まる。

未だ女性の人権問題がニュースになるインドで、女性監督のキラン・ラオが、ユーモアと人々の人情を取り混ぜながら、主人公達が自立した新しい自分を取り戻してゆくコメディドラマ。各界から大絶賛されたヒット作。人権と愛を描いたお勧めの作品。観た私が言うんだから間違い無い。

(映画プロデューサー 北村真平)

“あきら”のホッと

どう会がんばります。おうえんしてください」と、園児からでした。山梨県甲府市から、約130kmの距離を西風に乗ってたどり着いたようです。早速、「届きましたよ」と連絡し喜ばれました。



空からのプレゼント

市役所近くのケアセンターの駐車場に、小さくなったメッセージ付きの風船を拾いました。女の子の絵と、「うん

